がんばろう！岩手

６月１４日の岩手・宮城内陸地震では尊い人命が失われ、一部地域において生活基盤などにも大きな被害をもたらし、また、７月２４日には岩手県の沿岸北部を震源とする地震が続いた。

これらに対して、全国各地などからお見舞いや励ましをいただいたことに感謝申し上げるものである。

このような地震であったが、大半の観光地・インフラには全く影響はなく、多くの県民は日常の生活を取り戻している。

私たち岩手県民に過去にも大きな災害を経験しているが、豊かな自然の恵みと、人と自然・人と人とが共生することで、それを乗り越えてきた。

このたびの地震災害についても、岩手県は復興に向けて大きく歩みだし、県民も元気を出しがんばっている。

また、平泉の文化遺産については、世界遺産登録が延期になったが、その文化的価値が否定されたものではない。あらゆる生命を尊び、自立と共生を目指す平泉の理念は時代を超えた世界共通の価値である。

登録延期はむしろ、平泉を知り、守り、伝える活動をさらに広めていくチャンスであり、３年後の登録に向け、全県を挙げ県民一体となって元気をだして取組んでいくものである。

オール岩手の官民協働のネットワークである「いわて未来づくり機構」は、会員や県民とともに、「元気です！岩手」を、そして「がんばろう！岩手」を、全岩手県民及び全国、全世界に緊急にアピールするものである。

平成２０年７月３０日

いわて未来づくり機構ラウンドテーブル
永野勝美
平山健一
達増拓也
甘竹秀雄
谷口　誠
玉山　哲
元持勝利